

ちびっ子鬼物語 「星になったミホコ姉ちゃん」の巻

※登場人物

- ① トシちゃん (笑鬼小学校の三年生です。)
- ② 近所のミホコ姉ちゃん(やさしくて、小さい子の面倒を良く見てくれる四歳上の女の子です。)
- ③ ミホコ姉ちゃんの妹、トシちゃんと同じ年のカズちゃん(おてんばな女の子です。)
- ④ トシちゃんのお父さん(おおらかな性格で魚釣りが大好きです。)
- ⑤ トシちゃんのお母さん(明るくて話し好きです。)

「今回の物語は、トシちゃんが五歳の時にあったお話です。・・・」

▼ミホコ姉ちゃん(以降は、姉ちゃんと書きます。)(こんにちは。トシちゃん遊ぼう！

▼トシちゃん

ミホコ姉ちゃんこんにちは。カズちゃんも一緒だね。遊んで！遊んで！

今日は家(うち)で遊ぼうよ。上がって！上がって！

▼姉ちゃん

おじやまします。おじやまします。何して遊ぼうか？

▼トシちゃんのお母さん(以降は、お母さんと書きます。)(こんにちは。ミホコちゃんカズちゃん

上がって、遊んでってね。

▼カズちゃん

お手玉か、ままごとか、おはじきで遊ばない？・・・

▼姉ちゃん

トシちゃんは男の子だから、おはじきにしようか。いいよ。いいよ。

▼カズちゃん

トシちゃんちの「ちゃぶ台(円形で短い

四本脚の食事用テーブルのこと)「貸してね。いいよ。

「カズちゃんは手さげ袋の中からおはじきを取り出して、ちゃぶ台の上に散らすのです。」

▼カズちゃん

おはじき遊んで楽しいよ。トシちゃん

は初めてだから遊び方を教えるね。

自分の好きなおはじきを一個選びます。おはじきを指先ではじいて飛ばします。当て

たおはじきは自分の物になります。一番多く取った人の勝ちです。トシちゃん分かっ

た？はい分かりました。

▼姉ちゃん

順番は、トシちゃん初めてだから一番。カズちゃん二番。私が最後ね。

「そして、ちゃぶ台の上では、おはじきの取りっこが始まっています。・・・」

▼トシちゃん

おはじき遊び面白いね。そうでしょう。それは良かった。

▼柱時計の音

ポーン、ポーン、ポーン、ポーン。

▼姉ちゃん

あ。もう四時か？カズちゃん帰るよ。・・・トシちゃんまた遊ぼうね。はーい。

「そしてミホコ姉ちゃんとカズちゃんは家に帰るのです。・・・そして翌日から二人は遊びに来ません。・・・三人で遊んだ日から七日後、トシちゃんはお母さんからミホコ姉ちゃんが「赤痢(せきり)」という病気にかかって病院に入院したことを知るのでした。」

▼トシちゃん

お母さん。ミホコ姉ちゃん早く元気になって欲しいなあ。・・・僕お医者さんじゃないけど、何かできることないかなあ？

▼お母さん

疫病(えきびょう)退散にご利益がある雨美恵(アマビエ)神社の神様にミホコ姉ちゃんの病気が早く治るようにお祈りしたらどう。

▼トシちゃん 今日から神社の神様にお祈りしに行くよ。

「雨美恵神社は、秋川の反対側にあるので子どもでは行くことができません。そこでトシちゃんちから古いお墓の前を通り、歩いて五分位で行ける遙拝所（ようはいじよ）遠く離れた所から神社の神様にお祈りする所。」からお祈りをするのでした。そしてお祈りを始めてから四日後、お母さんからミホコ姉ちゃんが死んじやったことを聞いたのでした。五歳の子どもにはあまりにも悲しい出来事です。トシちゃんは布団の中で朝まで泣いていました。・・・」

▼お母さん トシちゃん悲しかったんですね。

▼トシちゃんのお父さん（以降は、お父さんと書きます。） 悲しかったんだね。・・・

亡くなったミホコちゃんのお父さんお母さんや兄妹もきつと悲しんでいると思うよ。
・・・うちの子（トシちゃん）はお母さんと私で見守ろう。・・・

「ミホコ姉ちゃんが亡くなってから一ヶ月が経った7月6日に、妹で同じ年のカズちゃんがトシちゃんを訪ねてきました。」

▼カズちゃん こんにちは。トシちゃんいますか。

▼トシちゃん あ、カズちゃんこんにちは。

▼カズちゃん 姉ちゃんがトシちゃんに、これ渡してって。



▼トシちゃん あ！ このおはじき。僕がミホコ姉ちゃんカズちゃんと初めて遊んだ時のおはじきだ！・・・このおはじき僕の宝物にするよ。カズちゃんありがとう。

「トシちゃんは、ミホコ姉ちゃんからの思わぬ宝物をもらったのでした。・・・そして翌日。・・・今日7月7日は、七夕（たなばた）です。・・・」

▼お母さん きょうは七夕だから夕ご飯は「ちらし寿司」にするね。食べ終わったらトシちゃんとお父さんお母さんの三人でお星様を見ようか。

▼お父さん 今夜は晴れていて空が澄んでいるから星が綺麗だね。

▼トシちゃん 僕の指先にある星見て。キラキラ光っている大きな星は何て言う名前？

▼お父さん あの星は「ひこ星」と言うんだよ。・・・

▼トシちゃん ひこ星の上の方にもキラキラ光る大きな星があるよね。何て言う名前？

▼お父さん あの星は「おり姫星」と言うんだよ。・・・

▼お母さん ひこ星とおり姫星の間に小さな星がたくさんあるでしょ。天の川っていうのよ。ひこ星とおり姫星は、一年に一度七夕の日に、天の川を渡って会うことができるのよ。

▼トシちゃん あ！ おり姫星の中にミホコ姉ちゃんがいる。優しい顔で僕達を見ているよ。お父さんお母さん見えるでしょ？どこ（父）。どこなの（母）。・・・

▼お父さん トシちゃんにはおり姫星に映るミホコちゃんが見えるんだね。そのようですね。・・・もう遅いから家に入りましょう。

▼トシちゃん はい。つぎの七夕早く来ないかな。

「トシちゃんの将来の夢は、宇宙飛行士になることです。ロケットでひこ星まで飛んで行って、ひこ星から天の川を泳いで渡り、おり姫星に住んでいるミホコ姉ちゃんに会いに行くことです。・・・」